

合される。即ち大資本が小資本を吸収するのである。斯くして資本家の数は漸次減少して行き、事業界は合同組織化して行く。——これマルクスが其大著『資本論』の中に高調した所の『資本集中説』であつて、彼は是を前提として、次項の『資本主義倒壊説』の論旨を導いたのである。

#### ○資本主義倒壊説

マルクスは其科學的推論に依つて、懸て現下の資本主義の運命を豫想し、必然の勢として資本主義は早晚自然に倒壊すべき者とした。マルクス社會主義の窮極の目的は此倒壊の時期の來る時でなければならぬ。前項の如く資本が段々大資本に集中され、社會は殆んど無産階級者で埋まり、資本家の數が寥々となつた曉は其生産は全般的に消費されず、従つて夥しい生産過剰となつて來る。現在紡績業者などは時々操業短縮を實行して居るのは、生産と社會の消費とが調和されないためであつて、既に其徵候の一端が現はれて居るものと見なければならぬ。斯く生産過剰となる時は、最早資本主義組織は、其効力を失し、嘗ては生産力増進のために必要であつた資本主義は今全然用なきものと

なるに至るのである。資本主義が生ずるのも社會主義が生ずるのも時の勢であつて、産業革命當時には資本主義が必要であつたが、前述の如き状態に立ち至つた時は社會主義の實施が必要となり、此處に資本主義は必然的に倒壊しなければならなくなる。——とマルクスは論定した。果してそれが眞理であるか否かは別問題として、兎に角其論理はマルクスの緻密な推理力を窺はせるものである。

#### ○社會主義 Socialism

(唯物史觀、科學的社會主義、空想的社會主義、過激派、ギルド・ソーシヤリズム、國家社會主義、サンデカリズム、講壇社會主義、修正派社會主義、共產主義、共產黨宣言、剩餘價值説の項参照) 社會主義に就いては上記の如く、分類的に各頂に詳述してあるから、それ等を檢する事に依つて自然に了解するゝであらう。要約して社會主義なるものを定義づければ、社會の財産を共有し、富を公平に分配し、各人平等の生活を營む事を目的とする主義であつて、それを實施するためには一の主權の支配が必要である。さうしてこの主權を必要とする點に於て社會主義は無政府主義と相違するのである。

## ○ 社會改良主義 Social reform

國家社會主義や講壇社會主義や民主主義(各項參照)などの如く、漸次に社會狀態を改良せんとする主義政策を言ふ。自由平等を其思想とする點に於ては社會主義に同じいが、社會主義とすれば餘程微温的なものである。比較的民衆の不利益を除去し、富裕階級を民主的ならしめんとするものである。而して其政策を施行するものは國家であつて、其國家は人民から超越したものであるから、社會主義から見ればかなり皮相的なものである。併し現在各國は此政策を實行し、或は之に近づかんとして居る。

## ○ 社會契約說 Doctrine of social contract

社會契約說の名に於て、初めて之を主唱したのはホッブスである。ホッブスの後にルッソーは之を民約論の名に於て、更に具體的のもの、徹底的のものたらしめた。國家なき以前の原始人は、互に慾望の放恣な發揮に依つて、掠奪や争鬭を事として居たが、それでは各人が不安であり、不幸であると言ふので、此に法律や道德の必要を感じ、互に其利己心や本能の抑壓を契約するに至つた。さうして其實行權を國家と言ふ形式に托し

たのである——以上が大體ホッブスの所說である。社會契約說は民約說とも契約起原說とも言ひ得る。(民約論の項參照)

## ○ 社會有機體說 Social organism

社會は活動的機能を有する有機體であつて、一般有機體即生物を超越したものである故に此社會は超有機體と呼ぶべきであると主張したのは英國のスペンサーであるが。其後ヅ・グレイフはスペンサーが社會と生物との有機的相違點を六點に限つたのを更に悉しく十二點に改め、社會契約說(其項參照)の如き契約をなすに至つたのは、各人がそれに承諾を與へる自由があるからであつて、契約が實現されても依然社會人は獨立と自由を有する有機體であると説述した。社會契約說が、各人は其契約に依つて自由を失ひ、社會が無機物的性質を有すると言ふのに對して、反對の立場に立つものである。

## ○ 社會連帶主義 Social solidarities

ソリダリチーの項に詳述する。

## ○ 社會契約有機體說 Organisme constructuel

佛蘭西の社會學者フイーエーが社會契約説と社會有機體説とを折衷して唱へた社會學説である。兩者は全然相反するものでなく、其根本に於ては一致して居る。人間の存する所には、必ず社會があり、社會のある所には合意の契約が生ずる。故に契約は有機體説の如く人間の自由であるが、近世社會の統治の實際に於ては契約説の如く拘束的である。故に社會は契約を行ひつゝある有機體である。これがフイーエーが其著『現代社會學』に於て説いた折衷説である。

#### ○社會民主主義 Social democracy

マルクス説を其精神とし、其手段に於ては、民主政治を探り、以つて社會改革の實を擧げんとする最も堅實な社會主義である。其代表的なるはラッザールの率ゐた全獨逸労働者同盟に基礎を置く社會民主黨であるが、其堅實な主張は歐米各國にも採用せられ、其運動は益々有力なものとなつて居る。社會民主黨は一時ビスマルクの極端な壓迫に依つて、黨勢の萎微した事もあつたが、一八九〇年及翌九一年の二回に涉つて新組織の下に其大會を開くに及んで、其勢力は頗る優勢を極めた。第二次大會はエルフェルトに於

て開催されたのであるが、其時マルクス及エンゲルスの共同發表たる「共產黨宣言」(其項参照)に立據して同黨の主義綱領を發表したが、其内容は労働者が政治上の權力を獲得しそれによつて私有財産制度を撤廢し、理想の經濟組織と政治組織とを實現せしめなければならぬと言ふ熱烈な宣言であつた。要するに民主主義的施設に依つて漸次社會主義組織に到達せんとするのが、此派の目的である。

#### ○寫實主義 Realism

寫實主義は自然主義と屢混同される。事實又兩者は随分まぎらばしい點があるのである。自然主義と言へば、此人生を有機的存在物と見做し、それに對して何等確然的解釋を附與せず、ありの儘に再現すると言ふ主義であつて、ごちらかと言へば、哲學的、精神的問題の主義である。寫實主義はさうした思想的の方面よりではなく、技巧上、手法上の主義主張であつて、文藝界及美術界に多く唱へられるものである。創作に於て事物を描寫再現する場合に當つて、恰も寫真機を以つてするが如く、忠實に丁寧に其儘を寫し描くのが、即ち寫實主義である。寫實派の巨匠ロダン(世界的彫刻家)が「自然は我々

の最良の師である』と言つた言葉は臆て全寫實派の態度でなければならぬ。併しながら寫實主義と自然主義とが混同せられるのは、故ある事であつて、自然主義の如き思想は、寫實主義の手法に依らなければならぬし、寫實主義の手法を以つてする時は、自然主義の如き思想に變らずには居られない。だから大概の自然主義者は同時に寫實主義者であつた。だが事實に徴すると寫實主義者は必ずしも自然主義者ではなかつた。文藝に於て、寫實主義が現はれたのは十九世紀初頭佛蘭西に於てであつて、バルザックは其創始者であるが、其手法の如きはいかにも眞實らしいが、作品中に描かれた事件は、未だ實人生に徹して居なかつた。故に彼の如きは寫實主義者ではあつたが、自然主義者ではなかつた。又美術上では普通史家は自然主義の前期に屬するものを寫實主義とし、後期に屬するものを印象主義として居る。故に美術上の寫實主義はクールベに依つて代表される一派を言ふ事になる。

#### ○シヤン・ゼリゼー *Dianmyns Elysees*

世界第一の粹美の都、巴里の其又最粹美を極めた巴里一の大通り。我國東京の舊銀座

の如く最も繁華を極めた目貫の場所である。佛蘭西第一流の建築物が立並び、其外部は淺草公園の如くあらゆる興樂場や娛樂場に埋まつた世界的の大歡樂場である。

#### ○借地法及借家法

從來地主本位、家主本位であつたものを、借地人、借家人に比較的有利ならしめた民本主義的な法律で最近我國にも實施されたのである。之に依れば、(一)從來借地期間は三ケ年であつたものを、三十年乃至六十年存続すべきものとし(二)其期間満了後は借地人は地主に對して、期間繼續の權利あるものとし(三)地主が貸地を謝絶した場合、或は第三者に賣渡した場合には、借地人は地主に對して、借地に於ける建造物を時價で以つて買取らしむ事を得ると言ふのである。併し契約期間最後の二ケ年間分の地代の保證として、地主は借地人の借地に於ける建物に對して、先取特權を獲得し得る事になつて居る。又借家法に依れば、(一)家主が借家人に家明きを申し渡す場合には、六ヶ月以前に其旨を通達する事、(二)借家人は其借家が賣渡された場合には、新家主に對して貸借權を主張し得る事、(三)借家人が家主の同意を得て取付けた造作物は家屋明渡しの際、其

時價を以つて家主に買取らしめ得る事等であつて、借地法借家法とも貸借人雙方から貸借の値上げ、値下げを要求し得る事になつて居る。要するに此新法規は下に厚く、上に薄しと言ふ社會政策的の色彩を帯びたものであると言はなければならぬ。

○主情説(主情主義) Affektualismus

哲學上及心理學上ではシュライエルマツヘルの如く感情を以つて總の精神活動の基調なりとなし、知性と意思とは之に準すべきものなりとなす説である。往時の哲學は大抵其反對の主知説であつたが、近代に至つて初めて此説が芽生へるに至つた。倫理學上では感情の満足を以つて至上の目的なりとする快樂説(其項参照)がそれに屬し、美學上では吾人が快感を感じる情緒が美であると主張する説を言ふのであつて美學界では一の主潮となつて居る。以上各學説の主張に依つても解る如く、要するに主情説とは總てを置いて感情を重んじ、それを第一義とする説であつて、其説が實際に現はさるゝ時は即ち主情主義となるのであつて、文藝上に於ける浪漫主義、實生活に於ける美的生活、其他感傷を専らとする感傷主義などは此うちに抱含さるゝのである。

○主知説(主知主義) Intellectualism

心理學及哲學上では人間の精神活動上知的作用を其第一義とし、感情及意思はこれに従屬すべしとなし、或は感情及意思は知的作用の一部分だと説く説や主張であつて、主情説と相反する位置にある。心理學ではデカルト、ライブニッツ、ヘルバルト等が其主唱者であり、哲學ではライブニッツ、ヘーゲル、プラトーン等が其顯著なるものである。倫理學では知の判断に依つて道德的行爲の標準を定むべしと言ふ説がそれであつて、ソクラテス、キニツク、ストア派、カント、バトラー、グリーン、デカルト、スピノザ等主知主義に根柢を置いて、それ〴〵の倫理説を樹て、居る。又美學上では知的内容、觀念的要素を標準として美を定義づけんとするのがそれであつて、アリストートル、プラローが其説の代表者だ。其他總て智力本位の思想はこれに屬し、古典主義なども其一つと見做されて居る。

○主意説 Voluntarism

人間の心的作用を構成する智情意のうち、意思が其根本となるものであつて、知性と

感情は意思から生ずるものであるとなすが、心理學上の主意説である。ヴァイント、ゼームスなど新時代の心理學者に依つて多く唱へ出されるやうになつたものである。又實在の本體は意思であつて、人生は其意思の具現した一部であると説くショウペンハウエルなどの所説が、哲學上の主意説である。

○主觀主義 (Subjectivism) と、客觀主義 (Objectivism)

哲學上で主觀主義といふのは吾人の知識は常に主觀的狀態によつて制限されるから、全く主觀的、個人的妥當性を有するのみで、普遍的知識即ち萬人に共通なる知識など言ふものはないと主張するので、その結論から推して畢竟懷疑論の一つとなるのである。今此の主義の現代思潮に於ける實際的方面の意義及態度を見るに、世間にはよく學問も藝術も政治も、皆自己に統一してしはうとする人があるが、かういふ人達は即ち主觀主義の人であつて、自己の爲の學問、自己の爲の藝術を主張するのである。即ち自己主觀の充實といふことを根底に置いて藝術も學問も政治も、自己の内容を豊にする手段と見るが故に、自己内心の欲求に發して自己個性の實現に至り、遂に自己主觀の満足に終るの

である。従つて是等の人にとつては藝術學問政治等の價值は自己に對する點に於て成立するのであつて、其の藝術的作品や道德的行爲が、社會に如何なる影響を有するかに存するのではない。たゞ總てのものを自己の中に抱括しやうとする主義に外ならぬ。

主觀主義に對するものは【客觀主義】である。この主義は主觀主義とは全く反對に物の見方をする。即ち自己主體の満足をば、凡ての思想上の目標とせず、寧ろ之等活動の結果たる學問上の真理、藝術上の作品等に重きをおいて、自己の精神的な生活が如何なる形で以つて客觀世界に實現せらるべきかに苦心する。即ち客觀的、普遍的、妥當性の知識を認めるのであつて、之等客觀主義の人々の態度に従へば、學問の爲の學問、藝術の爲の藝術、政治の爲の政治である。

主觀主義にも客觀主義にも各其の長所と短所がある。吾等はこの兩主義の何れかにかたよつてはいけない。寧ろこの二つの主義は相互に調和して一つの立派な主義となるが故に、吾等はこの二主義の兩面を具へて初めて人生及世界の真相を知ることが出来るのである。藝術に於ては主觀の感情生活の表現を本務とする主觀的態度と、客觀的に事物

を忠實に解釋する客觀的態度とが相俟つて初めて立派なる藝術を産み出すことが出来る。又哲學や一般思想にしても、充分な個性の發達と、一方又其の時代の客觀的な時代思潮とが並行的に或は交代的に顯はれ來つて其處に更に偉大なる哲學や思想が生れ、文化が建設せらるゝのである。

### ○純理法學說

心理學說とも言ふ。自然法學說と並んで、理想法學說の一つで。吾人は國法以外に、吾人の理性を以つて原則的の法を思考し得と言ふ說である。自然法學說は既に自然と言ふ對照を認めて居るのであるが、これは吾人の理性を以つて眞に妥當なる根本原則を見出でんとするものである。カント及フイヒテが此派に屬して居る。

### ○自由的社會改良主義 Dr. reformatorische Liberalisme

講壇社會主義者たるブレンタノー及コンラードの二人が主として提唱した社會改良主義の一つである。個人に絶對の自由と權利とを附與する時は、弱肉強食の悲惨狀態を現出するから、反つて不自由なる社會となる。故に個人の自由は法律で以つて限定し、制

肘を加へなければならぬ。さうして其法律は飽迄平等でなければならぬ。其處にこそ眞の平和と自由とがある。又社會主義の如く物質の平等を行ふ事は、個人の才能を發揮する事を束縛するものであるから、實質的には平等と自由とを持たない——これが其主張の大要であるが、要するに法律のもたらす眞の自由と平等に依つて、強者を制し弱者を扶くる理想社會を現出せんとするのが其目的である。

### ○自由貿易主義 Free trade system

保護貿易の反對で、通商貿易に對して政府が何等保護干渉を與ふるなく、民間の自由なる競争に任す貿易政策である。産業革命の生んだ賜であつて、殊に英國では此主義を尊重し、スミスやリカード等個人主義經濟學者は皆此主義の祖述者であり、佛蘭西に於ては重農主義者殊にケネーなどが其熱心な唱道者であつた。(産業革命、重農主義、干渉主義等の項参照)

### ○自由黨 Liberal party

英國の議會は常に二大政黨の對立であると言はれて居るが、其一つは保守黨であり、

それに對するものが此自由黨である。自由黨の前身はホイッグ黨であつて、保守自由兩黨の對立は英議會創立以來からであるが、大戦中初めてロイド・ジョージの率ゐる國民自由黨と、アスキスの率ゐる國民自由黨の二派に分立するに至つた。其結果は労働黨をして漁夫の利を得せしめ、現在の如く労働黨の内閣が出現するに至つたのである。自由黨が創立以來一貫せる主義は保守黨の常に保守的たるに對し進歩的、積極的なるものであつた。併し現在では労働黨が最左傾的たるに對し、保守黨との中間を歩むものと見るべきであらう。又我國でも自由黨は憲法發布以來の大政黨であつて、板垣退助、星亨等の政客は自由黨の領袖として活躍したものであり、今日の政友會は此自由黨の後身と見るべきである。

#### ○自由戀愛 True love

近代婦人問題の一思潮として現はれ來つたもの。その首唱者は現代女性思想家の第一人者エレン・ケイであつて、彼女は『結婚は皆戀愛から入らねばならぬ。戀愛なき結婚は相互の愛なく、賣買的の結婚である。故に戀愛に依らざる結婚は不道德である。斯く

して戀愛は自由なるべきものである。』と言ふ風に主唱した。從來の道德とは全然相反する思想である。我國でも此ケイの説に動かされて、平塚明子其他の新婦人が熱心に之を主唱した。

#### ○自由劇場

自由劇場には露西亞モスカウに生れたそれと、我が國の小山内薫に依つて設立されたそれと兩方ある。前者は歐米近代劇の上演に先鞭をつけ、新劇運動に非常な感奮を與へた。イブセンやマアラルリンクなどの、他國の近代劇をも上演したけれど、自國のチェホフやトルストイやゴリキイの作品を上演する事に依つて、自由劇場の藝術的眞價が發揮された。露西亞革命後いかになつたか其消息は審でない。又我國の自由劇場は露西亞のそれに範を取つて創立され、我國新劇勃興の先驅となつた。小山内氏が指導者となり、劇壇の新人市川左團次が主演俳優となり、イブセンの『ボルクマン』ゴリキイの『夜の宿』などの近代劇の名作をどし／＼上演して、新人を隨喜せしめた。此自由劇場の創立は十數年以前であつたが、今でも機會を見て時々開催されて居る。



## ○象徴主義 Symbolism

(略解) 象徴主義は十九世紀末葉、西歐の詩壇、書壇、小説界を風靡した思潮であつて、自然主義の反動として起つた。新主觀主義の藝術のうちでも、殊に華々しかつた運動である。(主張) 形體を形體として現はすだけでは、餘りに殺風景であり妙味に乏しい形體のもつ情趣によつて、形體其物を暗示し、形體の一部分を現す事によつて全體を窺ふ所に、藝術の盡きせぬ興趣がある。例へば弧によつて圓を暗示し、匂ひによつて花の色と形を想像せしむるのが藝術の本領である。マラルメはそれを簡単な語で適切に言ひ現はして居る。即ち「名づくるは破壊で暗示するは建設である」と。(起源) 象徴主義は頽廢主義デカダンスの延長であり、轉化である。強烈な刺激異常な昂奮を追求した頽廢主義の傾向は、異常神秘的な情緒によつて實在を暗示しやうとする象徴主義と化したのである。十九世紀末自然主義が漸く其衰運に向はんとする時、佛蘭西に於て先づ詩壇に依つて其運動が開始され遂に藝術界を壓倒せんとするの概を示した。(其派の人々) 詩壇ではヴェルレーン、マラルメ、ランボウが其雄なるもの、繪畫ではホイスラア、モーリス・ドニ等が

其驍將で。小説及戯曲ではロシヤのアンドレイフが最も顯著だ。(附言) 尙象徴を以つて比喻と等しいやうに解釋する人があるが、それは全然間違である。白を以つて潔白を表はすが如きは比喻であつて、象徴ではない。

## ○女權擴張運動(女子參政運動)

女權擴張を叫んだ最初の女傑は佛蘭西革命當時に於けるオンリヴ・ド・グウジ女史であつた。彼女は女子も男子同様參政の權利を與へよと絶叫したのであるが、革命黨員は矢張り性的因襲に囚はれ、斷頭臺に彼女の首をはねてしまつた。亞いで佛蘭西の女流文士ジョージ・サンド(サンドの項参照)は筆に口に熱心に女權の擴張を叫んだ。殊に其作『ジャック』に於ては、娘が結婚するに當り、道德や周圍の事情に強ひられる事の不正を説き、習俗結婚よりの解放を力強く主張したのである。又彼女の公開狀『國民に與ふる書』も一世の輿論を喚起した女權擴張の叫であつた。如上佛蘭西女權運動は一轉して英國に移り、女權運動史上に異彩を放つメリー・ウオールズ・クラフトは一七九二年「女權辯護論」を著して、道德的にも政治的にも男女同權たるべき事を絶叫し、實際運動に於ても

熱烈な行動を執つた。それから約百年の後一代の經濟學者スチユアート・ミルは自ら男性の立場にありながら、婦人の正義のために叫んだ。『女子の屈從』なる彼の一論文は彼の其所説を開陳せるものであり、更に机上の論のみならず、彼は英議會に於ても婦人に參政權を與ふべき事を提議主張したのであつた。斯く徐々に昂まり來つた女權擴張運動はサフラジエツト(女子參政權運動)となつて、世界の視聽を牽くに至つた。此サフラジエツトは婦人自身の過激運動であつてウーマン・サフレジストの方は眞面目に言論に依る運動であつたが、バンクハースト夫人を頭目とするリタントウーマン・サフラジストの方は暴行、亂行を働いて、大に官憲を手古摺らした。絶食同盟ハンガーストライキと言ふ奇抜な抵抗を實行したのは此連中が元祖である。此運動の最も猛烈になつたのは、歐洲大戰前後に於ける英米であつた。以上諸婦人の運動の効空しからず、現今では女子に參政權を附與しつゝある國は英米獨を初め大小二十二ヶ國の多きに昇つて居り、婦人代議士の如きは敢て珍らしからず女知事、女大臣さへ見るに至つて居る。唯參政權運動の發祥地と言ふべき、佛蘭西のみが之を實現して居ないのは、稍不思議の感がある。參政權問題と共に女權運動の

重要運動と目すべきは、女子職業問題、女子教育問題であつて、これは男女平等の見地から女子にも男子同様の職業と賃銀を與へ、且つ同等の教育を授けよと言ふ主張である(婦人問題の項参照)

○女性本位説(女性中心説) *Gynocentric theory*

肉體的には女性は人種のために有能な組織を以つて居て、男性は血液を混淆せしめて其女性の肉體を確實にするために存在して居るものだと説く、生物學界の説がそれで、一般眞理とさるゝまで重要視されて居る説である。更に其説に依ると、右の理由により男性は女性に従屬すべきものであつて、人間の如く其反對の現象を呈して居るのは、人類本來の性質に反して居る。原始時代や動植物界では現にそれが實行されて居ると言ふ事である。併し此説が生物學に止まつて居る間は無事であるが、それが社會思想、倫理思想に及ぼした結果は、女尊男卑、女權擴張、母權尊重等の所謂「新しい女」の活動となり、男女の鬭争と言ふ事が惹起さるゝに至る。我國の平塚明子の如く「原始女性は太陽であつた」と氣焔を吐く女性も出で、女性中心思想は益々旺盛になつて來た。

## ○少年審判所

子供の悪事をなすは、大抵周囲の事情、例へば家庭の缺陷、悪友の感化、頭腦其他生理的缺陷に由る者が多い、これを一概に大人同様の法律で刑罰を加へる事は不當であつて、寧ろ悪い子供は適宜な方法でこれを保護し教育して眞人間に仕立て、行く方が効果を擧げ得る事になる、結局子供は罰すべきのにあらず、教育すべきものであるといふ主旨から、我國でも子供を主とする「少年法」を制定し、少年審判所を設けたのである。

少年審判所では、少年法第四條に定められたる「刑罰法令に觸るゝ行爲をなし、又は刑罰法令に觸るゝ行爲をなす虞ある少年」を審判保護するので、其の年齢範圍は十八歳未滿の少年であり、其の内十六歳以上で罪を犯した者は少年法第二十七條に依り裁判所又は検事局から送致を受けた場合を除く外は少年審判所で處分する事が出来ないし、又十四歳未滿の者は第二十條に依り、地方長官より送致を受けた場合を除く外は審判する事が出来ぬ。要するに少年法は少年の罪は必しも起訴し處刑せずとも、能ふ限り保護し教育すべしと云ふに外ならぬ。

## ○小選舉區制

選舉區域を一市一郡の少區域に限り、其地域から一人だけの議員を選出する事を原則とする選舉制度である。選舉運動費を莫大に要せざること。直接候補者の人物を知り得る等の便利があるが、反面に於て情實を作成し、地方的小人物を選ぶ等の短所がある。

## ○少數代表制

Decimal representative system

一選舉區内に於て、少數者よりも代表者を出す選舉法である。選舉人をして、議員定數より一人乃至數人を減じた數の候補者を記載させるものと、議員定數の全部を記載させるものと、候補者定數全部に對し一候補のみを宛て、記載させるもの等の方法がある。歐洲の一部分で實施されて居る制度である。

## ○剩餘價值説

Mathrivaltheorie

これは唯物史觀と並んで、マルクス社會主義の最も大切な説である。マルクスの代表的名著とも言ふべきで「資本論」の論點の歸する所は此「剩餘價值説」である。見做して好い。マルクスはこれに依つて現下資本主義の急所を辛辣に多ぐつた「勞働は商品に

非ず」と言ふ社會主義運動の標語は此「剩餘價值説」から生じたものである。だがマルクスは「剩餘價值説」に於て労働を商品なりとする前提に依つて、此説を樹立した。即ち彼は労働は機械や燃料や原料と同じく、資本家が其生産を營むために購入する無形の商品であるとし、然も労働と言ふ商品は、購入されたる價格以上に餘分の生産をする。資本家は労働を購入するに當つて、其労働を生むに必要なだけの價值しか支拂はない、労働に必要な丈の價とは、其労働者及彼の家族を扶養するに足るだけの生活費である。で今日の社會状態に於ては、労働者が要する生活費は約貳圓ぐらゐである、然るに其貳圓ぐらゐの金は今日の労働者は約二時間ぐらゐの労働に依つて既に生み出して居るのであるにも拘はらず、今日資本家は労働者をして、八時間乃至は十二時間程も労働せしむる。然らば労働者は其二時間以上即ち十時間前後と言ふものは、労働の價格以上に餘分の儲けを資本家に提供する譯だ。換言すれば貳拾圓ぐらゐの價格のものが、貳圓ぐらゐの價值に依つて資本家に購入されるのである。労働の實價格以上の餘分の價值——それが即ち剩餘價值なのである。で今日資本家は労働者から剩餘價值を搾取する事によつて

不當なる利益を得つゝあるのだ。故に今日の資本主義を打破するためには、先づ労働を商品から區別せしめなければならぬ。と、マルクスは主張する。即ち剩餘價值説は其結論に於て「労働は商品に非ず」と言ふ事になるのである。

#### ○常設國際司法裁判所

國家間の紛争事件を裁判し解決する國際的裁判所であつて、國際聯盟規約第十四條に依つて定められたものである。開廷は毎年一回で、裁判官は十一名、他に豫備員四名であつて、我國では織田萬博士、英はフィンレイ、佛はウエース等夫々國際法に堪能な法學者を任命して居る。

#### ○消費者同盟 Consumer federation

現代社會運動が生むに至つた一現象。労働運動が頻繁な結果は、賃銀の値上は、資本家をして商品の釣上を策せしめ、獨り馬鹿を見るのは消費者階級であると言ふので、團結の力に依つて、其商品の値上りを防がんとする同盟である。ヨーロッパでは既に實現されて居るが、我國では時々其必要を叫ばれて居るものゝ、まだ實行されて居ない。

## ○上部シレジア

獨逸、波蘭、チエツク・スロバキア間に介在した三萬三千方哩の地域である。石炭鐵等の鑛産物に富み、獨逸の愛着頗る強き土地であつたが、ヴェルサイユ會議に於て、從來獨逸領だつた同地は、半ばは獨逸に、半ばは波蘭に分割さるゝに至つた。當時關係各國の輿論を沸騰せしめた上部シレジア問題が是である。

○シヨツプ・スチユード・ムーヴメント *Shop steward movement*

和譯すれば工場委員運動である。最近ではワーカーズ・コムミツチー(労働者委員會)と簡單化して呼ばれる場合の方が比較的多い。從來英國の職工組合は、同業者間のみの組合組織であつて、仕事の違ふ職工同志は同一工場で労働しながらも全然團結的に聯結が取れて居なかつた。それでは工場主に對する對抗運動の場合甚だ不利益であると言ふので、同一工場の職工が一つに團結する組合が成立するに至つた。それが此SSMであるが、つまり縦に同業組合、横に同一工場の團結を以つて全國的に組織さるゝ制度である。其最初の運動はグラスゴウの兵器工場であつたが、それを導火線として忽ちのうちに全

國的に成立さるゝに至り、英國労働運動の基礎をなし益々強固に至らしめた。

○進化論 *Evolutionalism*

(略解) 進化論的の説をなしたものに、ダービン以前にラマルク・サンチエル等がありダービン以後ロマネスの如くダービン説を反覆改更する幾多の學者があるが、進化論は九分九厘迄ダービンのものである。進化論即ダービンである。ダービンの進化論の科學界に於て占むる位置は、天空の太陽の如きものである。其太陽の光を浴びて、個人主義、唯物觀、自然主義等近代の重要な思想が生れ、科學其物は全く新しい感謝を享くるに至つたのである。進化論の現はれたのは一八五九年であつて「種の起源」なる大著述となつて現はれたのである。其複雑緻密な内容を簡單化する事は至極困難であるが其要旨を會得するには、(一)變異性、(二)遺傳性、(三)人為淘汰、(四)雌雄淘汰、(五)自然淘汰、(六)自然競争の概念、を理解すれば足るのである。(變異性)變異性とは一般生物が其親から變化する性質であつて、どの生物でも夫れ自身に此變異性を持つて居る例へば或兎が其親の兎とは變つた毛を備へ、親とは別個の種類となるに至るのは此變異

性の結果である。(遺傳性)これは生物が先祖代々から繼承する性質であつて、形體其他が親や祖先と類似して居るのは此遺傳性の結果だ。(人為淘汰)これは人間が其飼育培養する動植物を己の嗜好或は利益に依つて、其欲する儘に變改した結果、或生物が親とは別様の生物と變る事を言ふのである。(雌雄淘汰)これは生物の雄同志が雌を奪ひ含ふ結果、其競争或は戰鬪に適するやうに變化する事である。(自然淘汰)これは進化論中殊に重要な説であつて、進化の理法は最も此自然淘汰に重きをなして居るのである。で自然淘汰とは自然界に於ける生物は互に猛烈な増殖をなし、其結果正に生存の餘地を狭められるため、此處に「生存競争」が生じ、生存競争に適するやうに形態其他が變化するに至るのだ。さうして其變化に依つて生存に適するものゝみが榮へ、然らざるものは滅亡する、生存競争のため自然に變化さるゝのが即ち自然淘汰である。(進化の理法)以上三つの淘汰に依つて、變種したものは、それが遺傳性となつて子に傳はり、子は更に變異性に依つて更に變種するが如く、生物は不斷に進化して、無數の種類が生ずるに至つたのだ。だから此生物界の無數の種類は起源を質せば、極く少數の種類或は單一の種類から

發生して居るのである。假令ば人間は猿から、鼠は兔から進化したものだ。(進化論の影響)進化論出現以前までは、生物の種類は無數の種別から成立して居るものと考へて居たが、其信仰は根本から打破された。又其生存競争の説は近代個人主義、唯物思想の源となつてゐる。

#### ○神秘主義 Mysticism

神秘主義は瑞典の哲學者スエデンボルグ、米國の哲學者ベィコン、現代白耳義の文人兼思想家マールリンクの三家の思想を検する事につ依て、其大略を推知し得るだらう以上三家は世界の三大神秘家と云ふべく、飽迄も宇宙の神秘と、心靈の不可思議を説いて止まなかつた。スエデンボルグは神秘思想の先驅で、想像は結果の世界から原因の世界に入らうとするものである。『結果の世界とは物質界であり、原因の世界とは心靈の世界である』と説き、人間は想像の力に依つて、心靈の世界に滲透し得るものと斷じた又エマースンは『想像と言ふものは靈感された心靈から見る現はれである』と論じて、其靈感力に依つて自然の神秘を把握すべき事を教へた。以上三家の神秘論に影響されて、

神秘主義を大成したものはモウリス・マアテルリンクである。現代の神秘主義を代表する者はマアテルリンクである。『心靈の神秘、そこに運命が潜んで居る。其運命を感じ得る力がまことの「智」である。』と説き、「人生の眞意義は、五感を以つて觸れ能ふ世界にあるのではない、五感を絶した神秘の世界にまことの人生がある。此の神秘の世界に探り入るのは心靈の力である。と述べたマアテルリンクは徹頭徹尾神秘に終始する詩人である。上記する所に依つて略ぼ解さるゝ如く、要するに神秘主義は直観を以つて滲透し得る神秘の境地に人生の眞意義を見んとする思想である。

#### ○新英雄主義 Neo-Heroism

『窓を開け！天の自由なる空気を導き入れよ！英雄的事業の下に集れ！』これは現代佛蘭西の最大の文豪にして哲人であるロウマン・ロウランが其名評傳『ベエトフエン』の序文に書きつけた字句である。二十世紀思想壇の一大勢力たるネオ・ヒロイズム（新英雄主義）の眞骨頂は此字句の中に結晶して居る。新英雄主義とは停滯凝結した十九世紀の唯物思想に新しい活力を附與した新精神主義の一つであつて、ロウランが代表的に標

榜する所である。ロウランに依れば此人生は苦痛懊惱に満ちて居る、併しそれ故に人生を回避せんとするものは、卑怯な弱者である。『世の中には唯一つの勇氣がある。それはあるが儘に人生を觀て、それを愛する事だ。』——そしてベエトベン（獨逸音樂界の最大天才）の如く『運命の咽喉元をつかまへて之を引倒す』剛膽なる勇氣を有つべきである。——これが彼の思想の縮圖である。更に彼の小説で彼の文名を世界的に有名ならしめた『ジャン・クリストフ』に於て、彼は神と主人公クリストフの會話を叙し、神とは虚無と闘ふ生命であり、永遠と闘ふ意思であると説破して居るが、新英雄主義の思想は、神を超然的存在物たらしめず、積極的な奮闘的な存在であると高調するのである。

#### ○新マルサス主義 Neo-Malthusianism

マルサスの『人口論』が其立論の上に矛盾だらけである事は、今日識者の誰人も異論ない所となつて居るが、唯其内の人口増殖の割合に對する見解は、後代の人にも強い感銘を與へ、彼が人口制限の主張は新マルサス主義に依つて復活した。併し新マルサス主義は其人口制限方法に於ては、マルサスの説く所と全然相違した。即ちマルサスは人口

制限方法として、私通早婚を避け、性慾を禁壓せよと言ふのであるが、新マルサス主義は禁慾、早婚私通防止の如きは、我々には非常に困難である。それ等を行つても、避妊をさへ行へば其目的は達せられるのであるとする。つまり新マルサス主義はマルサスに比しヨリ現実的であり、ヨリ學理的である。其避妊法の如きも、微妙なる醫術に依つて實行するものである。此主義は十九世紀初頭佛蘭西の田舎に發し、懸て都市にも普及するに至つた。一方英國ではノートンと言ふ醫者が「社會學理」と言ふ避妊鼓吹の書を公にし、非常な歡迎を受け、それ等が原因となつて獨逸、和蘭等にも新マルサス主義が流行を逞するに至つた。佛蘭西の態度は個人的であり、英國等の態度は道義的である。即ち佛蘭西では女子が美貌を損せないため、財産相續に支障を來たさないためと言ふ思想に基いて居り、英國では人口増殖は貧困、罪惡を激増させるものであるからと言ふ思想に立脚して居るのである。現在新マルサス主義の最も有名な宣傳者は米國のサンガー夫人であつて、彼女は世界を行脚して、現代文明に於ける産兒制限の要を説き、人工避妊の具體的方法を教へ、新マルサス主義のために善闘して居る。又新マルサス主義は出產

を絶対に不可とするのではなく、其數を二人と限定して居るのである。同主義者ではないが、露西亞のトルストイの如きは禁慾主義の見地から、二兒を出産した後は、夫婦は絶対に性交すべからずと言ふやうな一種の産兒制限論を提唱して居る。

#### ○新ダービン説

ダービン以後ダービンの學説を繼承し、それに自説を加味して祖述したワイズマン、ワオレリス、ハツクスレー、グレイ、ゾルツクス、ランケスター等の學者の進化論説を言ふ。殊に其内でもワイズマンは最も卓越し、世にワイズマニズムなる名稱があるほどである。(ワイズマニズムの項参照)

#### ○新ラマーク説 Neo-Lamarckism

ラマークはダーウビンの先驅者であると言はれる生物學者であるが、最近に至り古生物學研究の結果、ラマーク説に新しく意義を感じ、ラマーク説の復活に努むる生物學者の一派が現はれた。ユープ、ハイアットなどがされてある。(ラマーク説に就いては其項参照)

#### ○新理想主義の哲學 Neo-idealism



新理想主義は二十世紀初頭に現はれた唯心的哲學を廣義に解釋して言はれて居るが、狹義に解する時は其代表者であり其著書『自然主義か理想主義』に依つて瞭に理想主義を明言したルドルフ・オイケン（オイケンの項参照）の哲學思想を指示して居る。オイケンの哲學を精分化して見ると、自然主義或は主知主義は人間を物質視し、機械視して、其靈的價値を認めなかつた。だが人間が其様な思考を起すに至つた科學や、其他の諸技術は人間の獨創力、精神力の結果ではないか。又人間が社會改造を企て、種々の精神的活動をなすのは神秘的な靈魂の存在する結果である。我々は此精神的能力に依つて、人生の最高善を獲得し、絶對郷に達する。さうして其理想郷に達する手段は不斷の努力、不斷の精進でなければならぬ。と、要するに彼の思想は悲觀的な唯物思想を打開した新しき世紀の福音であらねばならぬ。

#### ○新東洋主義 Neo-Orientalism

東洋の最強國日本を盟主とし、大いに東洋文化を發揮し、西洋諸國に對抗し、或は東西文化の調和を計らうと言ふ主義だ。従來の東洋主義は單なる感情的の攘夷本位のそれ

であつたが、新東洋主義は東洋人の思想的自覺を伴つて居る。

#### ○新人文主義 Neohumanism

中世思想に對する反動として、人文主義が高唱され、人文主義の反動として、自然科學の研究が擡頭し、惹いては實利主義の旺盛を見るに至つたが、更にそれに對する反動として先の人文主義が再び復活するに至つた。併しそれは單なる人文主義の繰返しではなく、人文主義に新たなる生命を附與した新人文主義であつたのだ。先の人文主義が單にギリシャ・ローマの古代文藝に對する憧憬と模倣を事とし、人間的、現世的と言つても大部分古典の精神に則つたものであつたが、新人文主義のそれは古代文藝、主として希臘文藝を研究する事に依つて、現實の生活を意義あらしめ、人間本來の價値を發揮せんとするものである。又實利主義の如く人生を利用的見地から解釋する事を排し、人生其物を價値とする思想である。纏て其思想は十八九世紀の浪漫主義、主情主義となつて全盛を極むるに至つた。新人文主義が特に旺盛を極めたのは十八紀中葉以後に於ける獨逸であつて、ゲッティンゲン大學は其搖籃と目すべく、教育家フンボルト等の熱烈な運動は

遂に全教育界を支配するかの觀を呈し、普通教育の中心たるギムナジウムを生むに至つたのである。新人文主義は其他あらゆる方面に波及したが、殊に文藝方面は多士濟々として、ケスネル、ハイネ、レッシング、ゲーテ、シルレル等が其影響の許に現はれたのである。

#### ○新重商主義 New mercantile system

産業革命遂行後、歐洲諸國は重商主義或は保護貿易主義を排し、自由放任主義的の貿易政策を採り、國家は毫も實業に干渉しなかつたが、各國の貿易競争が熾烈を極むるに至り、放任主義のみでは、競争に破られる懸念があつた。其處で十九世紀後半各國は再び舊の保護干渉政策に復歸し、其形式に於ては重商主義の復活の如き觀を呈した。これが新重商主義であるが、新重商主義は決して重商主義の如く、貨幣増大を目的とせず、領土擴張、植民政策、關稅政策等に依つて、自國貿易を旺にして、經濟的萬全を期せんとするものである。だから此主義は帝國主義、新鎖國主義、國民經濟主義等の總てを包含した政策と言ふべきである。

#### ○新教 Protestantism

基督新教プロテスタントの謂である。最初一五二九年スバイエル會議の命令を拒み、羅馬教會から獨立するに至つた宗派であつて、現下基督教の一大勢力である。プロテスタントは抗議、抗辯を意味する。現在では羅馬教會に所屬しない總ての教派を新教と稱し、基督教の一大勢力である。プロテスタントの特徴は、信仰及實踐を聖書の本文に置く事。信仰のみに依つて救はるゝと言ふ事。僧侶の階級を認めず、信者は總て僧侶たる事等である。

#### ○人文主義 Humanism

人道主義とも言つて居る。歐洲中世は基督教萬能主義、宗教的專制時代であつて、人間の自我は極度迄磨げられ、人間的自覺と言ふものは毫もなかつたが、十五世紀に入つて俄然文藝復興の運動は洪水の如く押寄せ、春に遭ふた草木の如く、人間界は活氣づいた。此文藝復興期に於ける人間の自覺、自我の尊重、美と幸福の追求、古代文明への還元——それ等の思想こそ即ち人文主義である。人間的、現世的これが人文主義の特徴である。つまり人文主義は文藝復興を背景とし、其中に育まれた思想である。で人文主義

の將帥と言へば、取りも直さず伊太利を中心とした文藝復興運動の學者文人であつて、ペトラルカ、ダンテ等は熱烈な人文主義の高調者であつた。人文主義は臆て全歐を蔽ひ佛蘭西に入つては、古典主義となつて絢爛な想華を開いた。(ルネッサンス) (文藝復興の項参照)

#### ○人本主義 Anthropologism

英國のシラー一派及オックスホード派の人格的唯心論の如く、人生の價値を人間其物に置き、積極的な愛の心を以つて人生に對するものや、往時のソフィストやソークラテス時代の哲學の如く世界の中心を人間と其生活に置かんとする人間中心的の哲學思想は總て人本主義である。つまり人文主義の精神を哲學に具現したものである。だから人本主義も人文主義の一部として解釋される場合が多い。

#### ○人性法學說

理想法學說の一つである。自然法(國法の上にある自然的根本法)は人間の性質に適應したものの、みであつて、人間の性質に背反するものは自然の大法ではない、故に人定法(國法)も其人性に適應するものに依つて制定さるべきものであると説く説である。然るに同じ

説でありながら、グロチユスの如く人間の性質を愛他的なもの、性善的なものとなす性善説と、ホッブスの如く人間の性質は自愛的で鬭争的であると説く性惡説との相反する二説があるのである。それでグロチユスの場合は立法の場合にさして矛盾はないが、ホッブスの場合は立法の精神と衝突する。それでホッブスは其様な鬭争状態は反つて人間の自愛心を満足さし得ないから、契約に依つて鬭争心を束縛すべきであると言ふ契約説を採るに至つたのである。

#### ○新生説 Spiganeis

現生説は生れながらにして完備した機關であつて、それが漸次成長するものだと説くに反し、新生説は生物は生れた時は極簡単な粗末なものであるが、成長するに連れて其機關が漸次發生して遂に完備されるのであると説く説である。十八世紀の中頃までは現生説のみしかなかつたのであるが、突然ヴォルフと言ふ其時僅か十六歳の少年が新生説を發表して其説を根底から破壊し去つた。併しそれは鳥が卵から雛に育ひ立つて行く経路を實驗すれば、誰人でも容易く解る事なので、忽ち一般に承認された。

## ○人道主義 Humanism

人文主義の事を人道主義とも言ふが、それとは全然離れて、現代の思想界にも人道主義は一の大きな勢力を形造つて居る。即トルストイやドストエフスキの思想のうちに含まれた博愛主義、愛他主義を標榜し實行せんとする主義である。トルストイの如きは其作『三つの死』に於て、植物にすら人間的な愛を感じることを説き、植物にも人道を及ぼすべき事を諷諭して居る。この二巨人の思想は聽て我國の白樺派の文士を強く動かし、自然主義後の我國文壇は此人道主義が風靡した。武者小路實篤、有島武郎、長與善郎等白樺派の作家は我國の代表的な人道主義者である。

## ○人口論

英國資本主義經濟學者マルサスが其代表著述『人口論』で發表した毀譽區々たる喧しい問題だ。『人口論』に曰く『人間の數は幾何級數的に増加するに反し、それに伴ふ食物は算術級數にしか増加しない。故に非常な食物の缺乏を來し、社會に貧困や生活難が生ずるのは止むを得ない現象である。それから救はれやうと欲するならば、早婚私通を排

して、産兒を制限すべきである』。貧困は當然の結果なりと論定した點は、現在多數の貧窮者を發生せしめつゝある資本主義組織の辯護に好箇の口實を與へ、それがためマルサスは資本主義の擁護者として遇さるゝに至つた。併し彼の此増殖比例は、明白に誤であつて、食物——魚類や獸類も幾何數的に繁殖して居るものだと後代の學者は辯駁し、其辯駁は今や一般に認容されて居る。

## ○人道教

實證論がコントの唯物的方面の現はれであるならば、此人道教はコントの唯心的の現はれであらう。即ち人道教はコントが晩年熱烈に布教に力めた獨特の宗教である。社會を幸福に導かんためには、人間は極度まで愛情を發揮し、愛他心を養ひ、其人道的觀念に依つて社會惡を一掃すべきである。社會改造は決して政治的強制手段に依つてなされるべきでない。——とコントは屢々之を辯じ、更に之を宗教的實行に移し、人道教の僧侶制、儀禮、祈禱等を制定した。さうして彼が定めた僧侶なるものは利慾名聞から超越し、實に人類の幸福の爲に身を犠牲とする大人格者でなければならぬと言ふ事であつた。コン

トが宣傳當時は、其熱誠に動かされて、一時は多數の歸依者を出したが、今日では殆んど根絶の形である。人道教又の名を人類教とも言つて居る。

#### ○信用循環説 Theory of credit cycle

英の經濟學者スチューアート・ミル及ジェームス・ミルは信用循環説なる經濟學説を唱へた。經濟界の信用及恐慌は周律的に十年目毎に到來するものである。即ち恐慌三年後は警戒と緊縮に依つて、信用關係薄く、經濟界は頗る不振である。次の三年間は漸進的の恢復状態を示し、最後の三年間に於ては濟濟界が恢復状態に入り、企業熱、投機熱勃興し、信用關係頗る厚くなると言ふのが二人の説であつて、好況不況豫想のバロメーターと言ふべく、或程度まで此説は信用されて居る。

#### ○シン・フェン黨

最近世界に於ける最も目覺ましかつた民族運動は何んといつても、愛蘭自治運動を第一に押さなければならぬ。さうして其自治運動は恐怖的テロリックな感をさへ誘ふ程に激烈を極めたものだつた。其烈しい自治運動の中樞となつたのは此シン・フェン黨であつて、其

斃れて後止む體の眞劍味に満ちた運動は、遂に所期通り一九二二年英國をして自治を許すの止むなきに至らしめた。而も愛蘭人の或者は自治すらまだ微温ホドホドしとなし、國家として獨立せん事を望み、熾烈な運動を開始するに至つた。急進的な革命家として、其名を謳はれて居る世界の新人デ・ヴァラレラは其獨立運動の首領である。彼が此獨立運動に投ずるまでは、彼はシン・フェン黨の黨首であつたが硬軟意見の衝突の結果、硬派たる彼は新たなる旗幟を樹つるに至たのである。けれどもシン・フェン黨をして今日の奏効をなさしむるに至つたのは熱情的な彼の奮闘の結果であつたと言はなければならぬ。併しシン・フェン黨の創始者はアーサー・グリフィスであつて、其創立されたるは一九〇五年である。元來此愛蘭自治は彼等が數百年の宿望であつたのであるが、歐洲大戰中シン・フェン黨の運動が最高調に達するに及んで、大勢は最早自治の止むなきに至つた。シン・フェンと言ふのは愛蘭語で『我等自身』と言ふ事であつて、自治の精神を其名に冠したのである。此シン・フェン黨の運動が比類ない程激烈を極めたのは、ケルト文學の項に説いた如きケルト民族特有の熱烈奔放な性格に原因すると言はなければならぬ。

## ○シンクレアー利権

大正十一年米國シンクレアー石油會社(石油王スタンダード石油會社の傍系)は突然勞農露國から、北樺太の油田採掘權を買収した。これがシンクレアー利權であるが、其以前から北樺太を保障占領して居る我國では、大に憤慨して、米政府に對する嚴重抗議を聲明したが未だに何等の解決を見て居ない。

## ○森林生活

米國の思想家にしてエマアソンに傾倒せるトロイ(ツロイとも言ふ)が提唱した一種の簡易生活。彼は充實した精神生活を送り、生活苦から脱するには物慾を離れた簡易素朴な生活を營まねばならぬ。それには原始的な生活を爲すべきであると主張し、自らコンコードのワルデン池畔に小屋を築いて仙人の如き生活を送つた。其著『森林生活』は彼れ自らの生活の報告と主張を述べたものである。

## ○シンボル Symbol

象徴。一の事物を現はす場合に、暗示的に或は簡略的に表現されたる事或は物を言ふ

のである。有形の物を無形のもので現はし、無形のもを有形の物で現はすなど其一方法である。象徴主義の文豪マアテルリンクは死を現はすに白髪のヨボくの老爺を以つてした。其老爺は即ち死の象徴である。又佛蘭西の象徴詩人レミイ・ド・グルウモンは女性の生殖器を『黒い神秘の森』として象徴した。(但しグルウモンは頗る眞面目だったのである)

## ○シンボリズム Symbolism

象徴主義の英語。(象徴主義の項に詳説)

## ○心理主義 Psychology

哲學上論理主義と相對する主義であつて、論理主義が『斯くあるべし』といふ推理推論を認識の方法及態度とせるに反し、心理主義は心理學を手段として『斯くあるなり』といふ事實的證明を認識の基調とせるものである。心理的法則を重視し、總てを心理學的に闡明せんとするのが此派の特色である。

## ○進化的社會主義 Evolutionary socialism

ヘルンシュタインの修正派社會主義の別名である。ヘルンシュタインは自己の主義を

斯く名附けて「進化的社會主義」なる論著を公にせる所より斯かる稱呼が生れた。

○紳士協約

明文上に於てなく相互國家の紳士的道義心に訴へて、取り交はす國家同志の契約である。我國と米國との間には移民輸送に付て毎年百八十人以上は送らぬと云ふ内約があつた。之が即ち屢々我々の耳にする紳士協約であるが、米國は我國が斯かる謙遜的條約をも敢て甘受し居るに關はらず、一九二四年移民禁止法案を可決した。

○新浪漫主義 Neo-romanticism

人は人の限ある經驗のみに依頼して生活し得るものではない。人生は現實の生活よりも更に深い奥底に潜む不可知のものに接する事に努めねばならぬ。と云ふ傾向が十九世紀の初に於て當時の自然主義、科學萬能の迷夢を破つて文藝上に現れた。嘗て自然主義的人生觀によつて一時消滅したロマンズの幻影を再び以前よりは意義ある所に求めやうとした。之が所謂新浪漫主義である。即ち既に自然科學の力によつて闡明せられた世界よりも、更に進んで未知の神秘境に其の意義を探らうとするのである。併し現實と

ロオマンズとは正反對ではなく、現實の奥深くに眞のロオマンズがある。即深く現實感に根した理想郷である。此新浪漫主義は輓近思想界に現はれた「靈の覺醒」に發した文藝である。されども亦舊浪漫主義と流を同じくする。併し其間に大なる徑底はある。それは現實感の有無である。舊浪漫主義は現實に疎くして徒に空想夢幻理想憧憬の主義であつたが、新浪漫主義は現實の經驗、科學的精神の洗禮、自然主義的懷疑思想の試練等を経た後の文藝で、飽迄も現實に即して更にそれ以上に出でんとする文藝である。

○シエクスピヤ(人名)

シエクスピヤは獨り英國のみならず、全世界の誇りであると言はれる。稀にトルストイの如く通俗作家なりと攻撃するものもあるけれど、あらゆる人間の心理、運命、性格を描いて、彼程深刻切實を極めた戯曲家は世界に其比を絶つとは、動かすべからざる一般の定評である。彼には數十種の戯曲と若干の詩歌の著作があるが、就中傑作として世界に喧傳されて居るものは、「ハムレット」「オセロ」「リア王」「マクベス」「ヴェニス商人」「ジュリアス・シーザー」「ロミオとジュリエット」「テムベスト」等である。彼

は一五六四年英國ストラットフォードに生れ、普通學校の教育を受けたほか、別に正規の教育はなかつた。青年時代ロンドンに出で、或は俳優となり、或は舞臺監督となり、脚本作家となつて遂に大をなすに至り、宮廷の寵遇をも蒙るに至つた。そして一六六二年に永眠した。或は世界最大の文豪であると言はれ、或は「一億心の人」と言はれ、全人類の誇りであると言はれるウヰリアム・シェクスピアは空前絶後の大天才であると  
言はなければならぬ。

## ○シエレー(人名)

バイロン、キーツと並び謳はれる英の浪漫派の詩人。其生涯は詩人的な狂的生活に満ちて居る。一七九二年に生れ、一八二二年船の難破の爲溺れて死んだ。「アラスター・孤獨の精神」「雲雀」「西風の賦」「雲」「嘆き」等は其詩作中でも殊に愛誦されて居る。他に若干の戯曲の作がある。

## ○シエリング(人名)

フイヒテの主觀的唯心論に對して、客觀的唯心論を唱へた獨逸の哲學者。伯林大學を

初め諸所の大學に哲學を講じた。一七七五年に生れ、一八五四年に死んだ。

## ○シエンキツチ(人名)

波蘭の近代文學と言へば、獨り彼が背負つて立つて居る。彼の初期基督教の史實を材料とした『何處へ行く』の如きは、全世界を熱狂せしめた作である。一八四六年に生れた。又彼は政治的にも大いに活躍した。

## ○シチュユ井ツク(人名)

牛津大學オックスフォードのグリーンと相對して、劍橋大學ケンブリッジの道德哲學の教授として、晩近英倫理學の二大明星と稱された學者である。一八三八年に生れ、死んだのはまだ最近の事で一九〇〇年である。

## ○シモン(人名)

サン・シモンは佛蘭西社會主義の先驅者である。普通彼は空想的社會主義のうちに入られて居るが、自然科學の開發に非常に努力した人物であつて、社會改造には是非科學的智識に依らなければならぬと言ふ事を主張した。實驗と言ふ言葉を使用した最初



の人は彼であると言はれて居る。其著には「産業論」「産業組合論」「新基督教論」等がある。一七〇六年に生れ一八二五年に死んだ。

## ○シモンズ(人名)

アーサー・シモンズは英國現代の詩人であり批評家であり、象徴主義、新浪漫主義等の最新思潮の先驅者である。其名批評『表象派の文學運動』は象徴主義を知るには最も必要な書である。

## ○シュライエルマツヘル(人名)

獨逸近世屈指の哲學者、神學者で一七六八年獨逸プレスラウに生れ、一八三四年に死んだ。彼の思想は古今の哲學說を調和折衷した抱合的思想である。其宗教觀に於ては宗教は絶對的依憑の感情に基くものなりとし、従つて神の人格非人格の如きは、敢て問ふの要なしとした。

## ○シュニツレル(人名)

彼の讚美者は我國にも随分早くからあつて、森鷗外博士の如きは夙に『みれん』を翻譯

した。現代の煥太利を代表して立つ世界的の小説家であり、同時に戯曲家である。彼の情緒的で頹廢的な維納文學は、シュニツレル等に依つて特色づけらる。世紀末的な病的戀愛や官能描寫は、シュニツレルの特色とする所であつて、其の最傑作戯曲『アナトール』の如きは、彼の特色を端的に發揮して居る。

## ○シヨウベンハウエル(人名)

アルトウール・シヨウベンハウエルは一七八八年獨逸ダンチツヒの一商家に生れ、ゲツチンゲン大學、伯林大學に於て、專念哲學の研究に没頭したが、途中「伯林の大學に我師と仰ぐものなし」と傲語して、獨學で研究を初めた。一八一三年には學位號を得、一八年には「意思及表象としての世界」と言ふ有名な厭世哲學の虎の巻を著した。其翌々年伯林大學の講師となり、ヘーゲルと對抗したが、意に満たずして辭した。一八四五年七十二歳の高齡を以つて逝いたが、其晩年は「フランクホルトの哲人」と尊稱され、衆人渴仰の的となり、彼の偉大なる思想は漸く酬はれたのである。厭世哲學の第一人者たる彼も亦特異なる天才であつたと言はなければならぬ。

## ○ジョージ(人名)

今は政權に離れて居るけれど、現代世界の政治家中ロイド・ジョージ程華々しい人氣を贏ち得て居るものはあるまい。彼は一八六三年彼の世界の大市場マンチェスターに貧しい小學教師を父として生れた。其父は彼の四歳の時夭逝した爲、彼の青少年時代は頗る不遇であつた。靴工の叔父の手に養はれながら、辯護士組合の書記に雇はれ、刻苦獨學の結果、遂に辯護士試験に合格した。其辯護士從職中異教徒の石工の埋葬事件のため、彼が爲した辯論は、其雄辯と熱情に依つて、傍聽者を熱狂せしめ、一躍彼は英國の人氣辯護士となるに至つた。一九〇五年バンナーマン内閣の時、一辯護士から異數の拔擢を以つて商務院總裁となり、同八年大藏大臣となるに及んで、滿英國の輿望を負ふ身となつた。其時から彼は漸次世界的の名士となるに至つたが、彼が全世界の壇場の大立物となるに至つたのは、彼の歐洲大戦中であつた。大戦勃發當時、大藏大臣であつた彼は世界に率先して工業動員を行ひ、全英國をして一大工場たるに至らしめた。アスキスに代つて自由、統一兩黨の聯立内閣を組織して其首相となり、快腕を縦横に揮つて、英國

未曾有の大國難に善處し、強敵獨逸を屈伏せしめたのである。今彼は在野の大政客として、秘に捲土重來の時機を窺つて居るが、彼の華かな武者振りを見るのは、遠い事ではあるまい。

## ○ジョンソン(人名)

ベンジャミン・ジョンソン(普通略してベン・ジョンソンと言つて居る)は一五七四年に生れて、一六三七年に逝いた舞臺技巧に長じた英國の戯曲家である。最初は俳優をつとめ、舞臺の實際に通じた。「誰も皆御機嫌が好い」を首めとして、夥しい劇作をのこして居る。欽定詩宗の一人である。

## ○ジョンソン(サムエル)(人名)

千七百年代の英國に聲名を馳せた批評家である。彼の浩瀚なる『大英辭書』は實に彼が七年の苦心に依つて編まれたものである。

## ○シヨウ(人名)

現下世界の最大の皮肉家は恐らく英國のバーナード・シヨウであらう。彼は最初小説

家として立ち、一向世に現はれなかつたが、彼の幾多の辛辣皮肉な戯曲を續々として公にするに及んで、近代文學及近代思想の大家の一人に數へらるゝに至つた。彼は又熱烈な社會改造家であつて、フェビアン・ソシヤイアリストとして有名である。彼の唱ふる「生命の力」はニイチエ流の力強い哲學である。「人と超人」「シーザーとクレオパトラ」「ウオレイン夫人の職業」等の戯曲は彼の諸作中喧ましい。一八五六年愛蘭に生まれ、今も旺に憎まれ口を叩いて居る。

## ○シヨツパン(人名)

佛蘭西近代の大音楽家。ベエトンと並んで彼の藝術的作曲は現代人の愛好措かない所である。

## ○シルレル(人名)

「ゲーテは世界のゲーテ、シルレルは獨逸のシルレル」と或批評家は言つたが、ゲーテと無二の親友であり、ゲーテと並び稱せられた彼は、ゲーテに比し規模が小さかつたゞけ、それだけ國民的であり、それだけ純真であつた。彼はゲーテに亞いでの獨逸浪漫派

の驍將であり、又獨逸國民文學に於ては其第一人者であつた。彼は一七五九年スタッドガルトに生れ、神學、醫學、法學等を修めたが、轉じて文學及哲學に走つた。十九歳の時早くも戯曲『群盜』を世に出し、『ワレンシュタイン』『ウヰリアム・テル』『オルレアンの少女』等の傑作戯曲を出すに及んで、世界的に聲名を謳はれた。彼は又イエーナ大學の歴史博士の學位を持つて居た。逝くなつたのは一八〇五年である。

○白意識 自己自身と強く意識する事。好い意味に於ては自己信念の強い事になるが、悪い意味に於ては自己通信に陥る。

○C.G.T 佛語 Confederation generale du travail の頭文字を取つて略したもの。労働總同盟の事だ。

○シーザリズム Caesarism 羅馬の英雄ジュリアス・シーザーの如き政治を行ふ事。即ちシーザー式の專制政治、武斷政治と言ふ。

○シーズン Season 季節・時節。

○シーソー Sawsaw 板に跨つて交互に上下する遊戯である。俗にべたんばつたんと言ふ。

○シート Zhee 敷布。一葉の紙。シートとも發音する。

○シーン Scene 情景、光景、場面。芝居の舞臺面。

- ジニアス Genius 天才。ゼニアスとも發音する。
- ジヴァイゼーメン、Civilization 文明、文化。
- ジエスイツト Jesuit 十六世紀の中葉に起つた反ルーテル教の基督教の一教派。教義は舊教に則る。同教が陰謀策略本位である所から、陰謀家、策略家の事ともジエスイツトと言つて居る。
- ジエラニウム Geranium 赤或は白の花を開く西洋草花。天竺葵と書き、觀賞用の草花である。
- ジエリー Cherry スペイン原産の葡萄酒。スペイン酒類中最優等のものである。
- ジエリー Jelly 果物或は肉類の汁と砂糖で煮て製した飲料。
- ジオメトリズム Geometrium 幾何學派と譯する。幾何的形體の畫と描く事と主義とする立體派に能く似た美術界の最新派の一つである。
- 紫外線 スペクトルに現はれた光線のうち、赤から紫までは色となつて現はれるが、それ以外の小さい光波は外部に現はれない。其現はれない光波が即ち紫外線である。
- シガー Cigar 葉巻煙草の事。
- シガレット Cigarette 紙巻煙草の事。
- 色彩聽覺 色彩に音韻と感、音韻に色彩と感する事。官能交錯の一種であつて、近世デカダン詩人の一特徴である。

- 色盲 總てが一色に見えたり、或は變色して見えたりする眼に關する不具者である。殊に近代に著しい病氣である。
- 直取引 取引所用語。契約の日より五日以内に代金支拂及物件引渡しとする取引である。
- シグナル Signal 信號、合圖。
- 死刑廢止同盟會 人が人を害くと言ふのは、人間が神の領分に立至るもので、越權の極みである。況んや死と課するに於てとや——斯る思想から死刑廢止を唱ふる會であつて、歐羅巴に於て間々組織されて居る。ドストエフスキの「白痴」の一節などを讀むと此死刑罪惡論を能く理解する事が出来る。
- 自己暗示 無意識狀態或は昏睡狀態に於て普通の場合には知る事の出来ない事を夢うつゝに暗示される事と言ふ。
- 四十二瓔砲 <sup>サンチ</sup> 大戦に於て獨逸が佛白要塞擊破に用ゐた巨砲である。彈重九百五十斤、彈長一米三、最大射程一萬五千米あると言ふ。
- 諮詢 問ひ計る事。上級者が下級者に對してなす場合に言ふのであつて、樞密院に諮詢するなども言ふ。
- ジゴマ式 佛蘭西ル・マタン紙に連載された探偵小説「ジゴマ」は全部の興味と唆り、活動寫真にも仕組まれ、我國のキネマ界でも素晴らしい大當りだったが、總て主人公ジゴマの擧げ殘酷な凶賊振り、神出鬼没な怪賊振りは、其模倣者と生むに至つた。獨り泥棒のみでなく、一般に其ジゴマのやうな遺口とジゴマ式と言ふ。
- シスター Sister 姉妹。姉若しくは妹。「君のシスター」がなご、學生などが旺に使ふ。略して單にシスとも言ふ。
- システム System 組織、制度、方式。

- システマテイツク Systematic 組織的な。方式的な。
- 自然科學 自然界と研究の對照とする科學。精神科學に對する。英語のナチュラル・サイエンスである。
- 自然敬 自然と神なりとして崇拜する原始人或は野蠻人の宗教。(物活教の項參照)
- 自然死 生物が其壽命に依つて自然に死ぬ事。
- 自然哲學 自然の本體、過程、理想等と研究する哲學。別言すれば自然科學の意義や原理と哲學的に研究する學問である。
- 下町情調 大江戸の意氣にして洗練せる趣味情調と言ふのであつて、東京の下町には今も其面影を残し、江戸ッ兒の大いに愛着する所。永井荷風、久保田萬太郎などの小説家は下町情調の讚美者として賣出したものである。
- 實用主義 プラグマチズムの和譯語。(其項に詳説)
- 失業保險 労働者が失職の場合、路頭に迷はぬ豫防のために懸ける保險。最近英國のマクドナルド内閣は此失業保險設立を提案して否決されたと言ふ。
- 執行命令 憲法上の大權に基いて、法律の規定と執行するために必要な事項と定むる命令。又裁判所が支拂命令と執行するために附する命令とも言ふ。
- シュテュー Stew 肉、野菜と煮込んだ西洋料理の一種。
- 使徒 天の命を蒙つて、此世に大なる使命と果さんとする人物。最初基督の十二人のお弟子達と使徒と呼んだのに初まる。

○シニツク學派 キニツク學派の別稱(其項參照)

○ニニシズム Gynicism 犬儒主義。白眼主義。

○ニニツク Gynie 皮肉、皮肉家。

○ツバライティズム Gylarism 古代希臘の植民地シバライス島の住民は奢侈放逸と事とした所から、贅澤主義、淫蕩主義等と言ふ事になつて居るが、文學では遊蕩文學を指して言つて居る。

○支拂命令 債權者の申請に依つて、裁判所が債務者に其支拂と命令する場合と言ふ。若し其債務者が支拂指定期間(普通は十四日間、爲替より出した請求は二十四時間)に債權と償却するか、異議申立とするかしなければ、裁判所は強制執行を行ふ事になつて居る。

○ジプシー Gypsy 猶太人と同く國家を持たない歐洲の民族である。常に旅から旅の放浪に日を送り、遊藝、卜占等を業として居る。彼等は多年の民族的遺傳のため、常に一定の所に安住する事が出来ず、一定の境遇に落着いても、直ぐに放浪をしたがる。非常にロウマンティックな神秘的な種族であつて、文學者は能くジプシーと主人公とした作品を作る。殊にジプシーの女は淫蕩で浮氣つぽいため戀愛小説の良き取材となり、メリメの「カルメン」の如く、ジプシー女の戀を描いた作品が尠くない。併し彼等は一面非常に汚穢であつて、歐洲民から乞食の如く排斥される場合もある。

○シムフォニー Symphony 交響樂を譯する。音階と音階とが相合して生ずる奏樂の事である。近時新かる奏樂が流行するに至つた。

○指紋法 獨逸ブルーキン博士の發見創案にかゝるもの。人間の指紋、指先の溝は、假令幾千萬人あらうとも、悉く相違するものであるから、重大犯人の如きは、警察に於て其指紋を捺捺せしめて保存し、他日彼が再び犯行を犯した場合にそれと照合して、犯人か否かと取調ぶる方法である。非常に適確であつて犯人は、犯行を隠蔽す事が出来な  
いと言ふ。

○社會黨 社會主義を信條とする政黨總てを言ひ、歐洲の議會に之を有せざるものは殆んどなく、孰れも議會の左翼と張り、最近社會主義の勃興と共に、各國とも益々勢力を振ふやうになつて來た。殊に獨、佛は社會黨の旺盛な國である。英國の労働黨も社會黨に屬するものと言つて好い。

○奢侈税 財界を緊縮せしむるために、外國品或は内地品中奢侈品と認むるものに課する重税である。英國ではボナー・ロー内閣當時に豫算會議に提案された。我國では大正十三年憲政會内閣の當時、濱口藏相に依つて外國輸入品中の奢侈品のみに、關税と十割増税する奢侈税法が實施せられた。

○社會劇 社會問題と主眼として書かれた劇曲である。問題劇と言ふも略同の事である。イブセンの戯曲の大半は此社會劇である。ハップトマン、ショウ、ゴネロ、ガルスローシーなども社會劇と以つて鳴る作家である。

○シャッター Shutter シャッターは閉めると言ふ事。シャッターは閉める物、即ち雨戸や蓋の事と言ひ、特に普

通寫眞器のレンズの開閉器の事と言つて居る。

○ジャイアント Giant 巨人。

○ジャコビニズム Jacobinism 急激革命、恐怖政策。元佛蘭西革命の凶猛なる革命家ジャコビンの遺言と形容して作られた言葉である。

○ジャック・ジモンソン Jack Johnson 米國人で世界最強の拳闘家。それから連想して獨逸が大戦當時用ゐた四十二冊巨砲彈を新く名附けるに至つた。

○シャーロック・ホルムズ式 世界の探偵小説家で一番人氣のあるのは英國のコナン・ドイルであり、ドイルの作品中最も廣く讀まれて居るのは「シャーロック・ホルムズ」の冒險である。其書の主人公たる名探偵ホルムズは凄いやうな探偵手腕を持ち、迷宮に入つた大事件を片つ端から片附けて行く。此ホルムズの如き敏腕なる探偵手腕や探偵眼が即ちシャーロック・ホルムズ式である。

○ジャーナリスト Journalist 新聞雜誌記者、或は編輯者。

○ジャーナリズム Journalism 新聞、雜誌の編輯法、經營法、新聞屋式、雜誌屋式と言ふやうに輕蔑の意を以つて用ゐられる場合は、業々しい標題や當込記事で讀者を釣らんとする社會の木鐸にあるまじい卑しい遣口を稱して言ふのである。

○ジャーマン German 獨逸人、獨逸語。

- シャットアウト Shut-out 運動用語。敵を零敗せしむる事。
- ジャップ Jap Japanese の略で、歐米人、殊に米人が日本人と卑しめて用ふる言葉である。我々が西洋人と呼ぶに毛唐人を以つてすると同し意味である。
- シャンパン Champagne 三鞭酒。佛蘭西原産の祝賀用の葡萄酒。アルコール分頗る僅少である。
- シヤター Theater 劇場。芝居。
- 純正哲學 哲學の眞の目的のみを考究し、他のものと交へざる哲學である。形而上學と殆んど同義語である。
- 純文學 通俗小説等に對して、眞の藝術的内容の文藝作品と言ふ。
- 自由講座 講義の題目と順序とを規則的に設けずに、講師が臨時特殊の題目を提出して自由に講義する講座と言ふ。
- 雌雄淘汰 進化論の項を見よ。
- 酒禁治産 民法上の用語。禁治産者の如く甚しくないとするも、利害の關係ある法律行爲を判断すべき意思能力のないもの、心神消耗者、不具者、浪費者等は本人、配遇者、四等親内の親族、戸主、後見人、檢察官、本人の住する區裁判所に請求すれば審理の結果、裁判所は準禁治産の宣告と與へる。
- 熟柿主義 柳から牡丹餅が落ちて来るやうに幸運が自然と廻り來ると、手を束れて待つて居る主義態度である。さうして熟柿主義として近頃最も有名なのは「憲政會の熟柿主義」である。彼の大隈内閣以來十年陰忍して、政權を我手の歸するを待つた憲政會は、大正十三年遂に其熟柿主義が剛ひられた。加藤首相が大命を拜受した際の事を「熟柿が落つる音」など、言つて居る。

- 主婦同盟 お寮所用の日用品の暴利を防ぎ、或は安價に供せしめんためお内儀さん連がいろんな事として騒ぐ同盟。米國などでは仲々凄い勢ださうである。
- 自由画 兒童として自由に欲する儘の畫題を描かした繪であつて、命令的に描かした繪よりも、反つて兒童の天真な藝術味が發揮されると此畫の鼓吹者は言つて居る。
- 十字街 四辻、四ッ角の事。思想の十字街に立ちてなご言ふ。
- ジュー Jew 猶太人。
- ジュー・ドレツトノート Super-dreadnought 超弩級艦(其項参照)
- ジューバーマン Superman 超人(其項参照)
- ジュピター Jupiter 古代伊太利の有名なる神であつて、人間界と神仙界とを司る最上の神である。男神クロナスと女神レアの子であつて、女神ヘラの夫である。彼のオリビツクの大競技は此神の祝祭を記念として營まれるに至つたものである。希臘ではゼスと言つて居る。
- 職工組合主義 工場労働者が労働運動のために職工同志の組合を組織する方法。サンヂカリズム及ギルド・ソーシヤリズムは是に依つて居る。(其項参照)
- 尙古主義 擬古主義に同ト(其項参照)

- 小農組織 大農組織の反對。自作農、小作制度等に依つて耕作する小規模の農業組織。工業化せざる農業組織であつて、我國の如きはまだ之に依つて居る。
- 觸手ある都會 白耳義の近代詩人ヴェルハブレンの作に「觸手ある都會」(佛語でレ・ヴィル・テンタキュール)と言ふ有名な詩がある。交通機關や其他の文明組織が發達した近代の都會は恰びも靈ある如くに思はれ、大きな觸手を持つたやうに思へる。——と言ふやうな意味を持つた詩であるが、其處から近代都市とたさふるに此語が用ひられるやうになつた。
- シヨック Shock 感動、激動。總體に撲られたやうな強い驚きを感じたる事と言ふのである。
- ジョン・ブル John-Bull 英國及英吉利人の綽名、特に典型的英人氣質の場合に言ふ。元同國の醫師ジョン・アブスノットの滑稽小説「ジョン・ブル・アンド・ヒズ・アイランド」より出た言葉であつて、諧謔的、嘲笑的の意味を含んで居る。
- シヨウ・ウ井バンドー Show-window 陳列窓。店頭裝飾。
- シリンドー Cylinder 蒸汽機關の發動轉筒。
- シリリング Shilling 志と書く。英國銀貨。一ポンドの二十分の一。我約四拾八錢八厘。
- シリーズ Series 何々叢書、何々文庫と言ふ場合に使ふ。次々に出る出版物。
- 白き手の勞働者 黒き手の勞働者即ち筋肉勞働者に對して精神勞働者、主として文筆勞働者の事と言ふ。

- 人生派 單に藝術として以外に、藝術作品の中に人生問題或は會社問題と取扱ひ、或は其傾向ある文藝作家と言ひ、「人生のための藝術」に屬する作家は勿論此派であつて、總體に露西亞、スカンヂナビヤの作家には此派の作家が多い。
- 新演釋學派 オースリア學派と内容的に命名したもの(其項參照)
- 新傾向 舊來の月並俳句の字數の制限や季節の條件などを無視して、大膽に自己の感情を録む新しく勃興した俳句である。河東碧梧桐は其創唱者であつて、井原井泉水は其最も徹底せる主唱者である。
- 新甫 取引所用語。定期取引の先物として、新たに賣買にかけられるもの。
- 信仰療法 一八六六年米國のエター女史が主唱したキリスト教的信仰療法。内容に於ては普通の精神療法と同様である。
- 人爲淘汰 進化論に詳説。
- 人生のための藝術 アート・ホア・ライフに同ト。
- 人猿同祖説 ダーウィンが進化論で唱へた説(進化論の項參照)
- 浸禮教會 バプテテスト派の事(其項に詳し)
- 進歩黨 西曆一九一二年、米國に於てルーズベルトが組織した米國議會の政黨。
- ジンゴイズム Jingoism 國際上戦争と賭しても横車を押さんとする道口。故に主戰論、衝突主義、對外硬主義



と譯される。米國が先年スメイン領キユーバ島は米人の肺患治療に好適の地であるから、米領たらしむべしと主張した如き其好適例である。

- シンセリテイ Sincerity 誠實。
- シンヂカリズム Syndicalism サンヂカリズムの英語(其項参照)
- シンヂケート Syndicate 企業家、專業家の合同組合。或は合同行為の團體。
- シンガー Singer 唄うたひ。シンガー・ガールは藝者の事だ。
- シンプルライフ Simple-life 單純生活、簡易生活(其項に詳し)

大正十三年九月廿八日印刷  
大正十三年十月一日發行

定價金壹圓八拾錢也

不許複製

著作兼發行者	文化之日本社
右代表者	京都市岡崎西福ノ川町一番地 宮田恒吉
印刷者	京都市油小路松原上ル 立石源次郎
印刷所	同上 松崎印刷所

發行所

文化之日本社

京都市岡崎西福ノ川町一番地  
電話五八八八番  
振替大阪五四三三八番

74W-96



終

